

# 大内かわら版 NO.25

## 大内地区 地域の 教科書

観光案内を目的に作られたものでなく、大内に住みたいという方が大内での生活をイメージしやすいよう、ありのままの暮らしぶりを記したものであり、地域住民の皆さんにとっては、当たり前になっていた地域の魅力・価値を改めて見つめ直すきっかけになるものです。現在は若者層への聞き取り内容を反映した第2段階となる「地域の教科書」づくりを進めています。

### 大内のお正月準備について<12月>

五穀豊穡や家族・地域の幸せを願うために行われる年中行事。上等な着物を着たり、ご馳走をつくったり、神様や仏様をお迎えするために昔から大切にされてきました。「正月」「盆」は今も暮らしに根付いていますが、簡素化されたり無くなったものも多いそうです。年末年始を前に大内ではどんな正月を迎えていたのか調べてみました！



12/中旬

お正月  
準備  
スタート



#### 障子貼り・すす払い等

家族で協力して正月様(ご先祖様)を迎えるために家中をきれいにします。



12/25



#### 納豆わせ

正月様(ご先祖様)の好物だと言われ、納豆はもちろん、納豆を包む「わらづと(つつこ)」も各家庭で作られたそうです。



12/28

か  
12/30



#### 餅つき

「苦持ち」「二重苦」と言われ、今でも29日は避けてつくそうです。



12/31  
大晦日



旦那(年男)が風呂で身を清め、**門松・正月飾り**の準備をしたそうです。

毎年、いきいき交流センター大内では、大内・丸森の伝統的な門松が飾られます！一般的に見る竹を組んだものとは異なり、松・竹・ユズリハ・南天・クヌギを使い、立派な手作りのしめ縄がかけられています。今年は、12/28に飾られるそうですよ！

# 大内のお正月について<1月>



1/1



## 元朝まいり

明神様（屋敷神）を参拝してから鎮守様などに参拝します。今は初日の出を拝むために、お羽山様（鎌倉山）や鹿狼山を拝みに登る方もいるようです。



1/2

## 買い初め

1/3

## 三日とろろ



1/3にとろろを食べると一年間風邪を引かない、長生きすると言われています。



1/7



## 七草がゆ

おかゆに「春の七草」などを入れ家族の無病息災などを願います。



1/11



## 農はだつ（農はじめ）

朝に縄をない、おがん松（床の間に備えた拝み松）を田んぼに立て拝む。正月様が田んぼへ移動し、秋の収穫まで農作業を見守ってくれると言われています。



1/13

または  
1/14



**だんごさし**（大内は「豆植え」とも言う）ミズキの枝に団子を飾付け、豊作を願います。団子は「二十日の風に当てるな」と言われ、19日中に下ろすそうです。



1/14



## かせどり

七福神に扮した人や子ども達などが、厄年や還暦の方の家を訪れ、食事を共にしたり楽しく過ごします。

大内保育所、いきいき交流センター大内でも毎年行っています！



1/15



## あかつきがゆ（小豆がゆ）

小正月を祝い、五穀豊穡を願う、農耕儀礼の一つとして、小豆がゆを食べる習慣が、今も残っています。



## 正月様納め（正月様送り）

今は正月飾りを「どんと祭」で納めることが一般的ですが、昔は集めた正月飾りなどに「あかつきがゆ」をかけ、その年の吉方や屋敷神に納めたそうです。

神様は「どんと祭」で立ち上る煙に乗り天に戻るとされ、神様を見送る行事とも言われます。大内の「どんと祭」は 1/14 に青葉の「熊野神社」、山屋敷の「熊野神社」で行われます。